

## 2月5日（日）日程表

	臨床大講堂	大学院講堂	臨床中講堂	アメニティ カンファレンス ルーム 3
お知らせ	09:20～09:30 開会式 山本 康次郎（群馬大学医学部附属病院薬剤部長）			
プログラム	09:30～10:45 シンポジウム 1 【口腔ケアからはじめる医療連携】 座長：前村 道生 シンポジスト：塙本 憲史 飯島 正也 新井 良明 上吉原 光宏		口演 1 【入退院連携・在宅医療】 座長：入沢 光美	
シンポジウム	10:45～12:00 シンポジウム 2 【在宅医療と看護師特定行為】 座長：棚橋 さつき シンポジスト：村田 美幸 村松 真吾 塙田 真彰 谷崎 義生		口演 2 【多職種による医療連携】 座長：関上 里子	
一般演題	12:20～13:20 ランチョンセミナー① 座長：坂下 加奈子 演者：内藤 滋人 共催：武田薬品工業株式会社	ランチョンセミナー② 座長：小林 敦 演者：石丸 博雅 共催：持田製薬株式会社	ランチョンセミナー③ 座長：齋藤 繁 演者：服部 政治 共催：テルモ株式会社	役員会
	13:35～13:50 総会			
	13:50～14:50 特別講演 花井 十伍（ネットワーク《医療と人権》理事）			
	14:55～16:15 シンポジウム 3 【多職種が語る医療安全】 座長：堀内 龍也 シンポジスト：磯部 総一郎 鈴木 まゆみ 永井 弥生		口演 3 【感染対策・チーム医療】 座長：長谷川 信	
	16:15～16:25 閉会式 次回幹事			

# 【特別講演】臨床大講堂（中継：大学院講堂、臨床中講堂）

13:50 ~ 14:50

演題名：医薬品の安全な使用に向けて～薬害被害者、患者の視点から～

座長：山本 康次郎（群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長）  
(群馬大学医学部医学系研究科臨床薬理学分野 教授)

演者：花井 十伍（特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権 理事）

## 花井 十伍（はない じゅうご） プロフィール

1962年長野県に生まれる。同年血友病と診断され、血液製剤の無い時代からクリオプレシピテート製剤、濃縮製剤へと血液製剤の技術革新を体験しながら育つ。輸入血液製剤によりHIVに感染。1994年大阪HIV薬害訴訟原告団加入。1996年より、血友病患者、血液製剤由来のHIV感染者のケア・サポートを目的としたNGOである「ケアーズ」に加入。1997年から、大阪HIV薬害訴訟原告団代表。1998年中央薬事審議会企画制度特別部会臨時委員、2002年「血液製剤の製造体制の在り方に関する検討会」委員。1999年から「全国薬害被害者団体連絡協議会」代表世話人。2000年「ネットワーク医療と人権（MERS）」設立、同年から理事。2003年薬事・食品衛生審議会血液事業部会委員、同年同部会運営委員会委員。2004年医薬品医療機器総合機構審査・安全業務委員会委員。医薬基盤研究所運営評議会委員。2009年再生医療の制度的枠組みに関する検討会委員。2011年中央社会保険医療協議会委員他。

1996年 血友病HIV患者サポートNGO「ケアーズ」

1997年 大阪HIV薬害訴訟原告団代表

2000年 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権理事

### <研究業績>

HIV診療支援ネットワークを活用した診療連携の利活用に関する研究（分担研究）

HIV感染予防個別施策層における予防情報アクセスに関する研究（分担研究）

### <著書>

輸入血液製剤によるHIV感染問題調査研究 報告書 輸入血液製剤によるHIV感染問題調査研究委員会 編 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権

薬害が消される 全国薬害被害者団体連絡協議会編 さいろ社

環境と人権 木野茂 編 東京教学社

以上共著

### <論文>

地方における陽性者のライフストーリー研究（共著）

（厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業HIV感染予防個別施策層における予防情報アクセスに関する研究報告書：主任研究者服部健司<群馬大学大学院医学系研究科>）

### <所属学会>

日本エイズ学会

日本社会学会

日本生命倫理学会

医学哲学倫理学会

お知らせ

プログラム

シンポジウム

一般演題

# ランチョンセミナー

12:20 ~ 13:20

会場：臨床大講堂

ランチョンセミナー1

『心房細動治療における最新の話題～高血圧との関係性も踏まえて～』

座長：坂下 加奈子（群馬県立心臓血管センター 薬剤部 部長）

演者：内藤 滋人（群馬県立心臓血管センター 循環器内科 第二部長）

共催：武田薬品工業株式会社

お知らせ

プログラム

シンポジウム

一般演題

会場：大学院講堂

ランチョンセミナー2

『これから始める抗がん薬曝露対策』

座長：小林 敦（前橋赤十字病院 薬剤部 部長）

演者：石丸 博雅（聖路加国際病院 薬剤部 アシスタントマネージャー）

共催：持田製薬株式会社

会場：臨床中講堂

ランチョンセミナー3

『がん疼痛治療科の最前線～アセトアミノフェン静注液の可能性～』

座長：齋藤 繁（群馬大学大学院医学系研究科 麻酔神経科学分野 教授）

演者：服部 政治（がん研究会有明病院 がん疼痛治療科 部長）

共催：テルモ株式会社

# 臨床大講堂 (中継：大学院講堂)

9:30 ~ 10:45

## シンポジウム 1 『口腔ケアからはじめる医療連携』

座長：沼田病院 病院長 前村 道生

### S1-1 がん医療における医科歯科連携

塚本 憲史 (群馬大学医学部附属病院 脳腫瘍センター長)

### S1-2 伊勢崎歯科医師会の周術期口腔機能管理病診連携への取り組み

飯島 正也 (伊勢崎歯科医師会 副会長)

### S1-3 口腔ケアからはじめる医療連携

新井 良明 (株式会社ぱとなコミュニティーエンタープライズ)

### S1-4 肺悪性腫瘍手術における周術期口腔機能管理及び医科歯科連携の有用性

上吉原 光宏 (前橋赤十字病院 呼吸器外科 部長)

お知らせ

プログラム

シンポジウム

一般演題

10:45 ~ 12:00

## シンポジウム 2 『在宅医療と看護師特定行為』

座長：高崎健康福祉大学 教授 棚橋 さつき

### S2-1 看護師特定行為の実践 今後の課題

村田 美幸 (高崎総合医療センター 総括診療部 診療看護師)

### S2-2 在宅医療と看護師特定行為

村松 真吾 (かがやき訪問看護ステーション 管理者)

### S2-3 特定行為実践に向けての現状と課題

塙田 真彰 (太田記念病院 係長)

### S2-4 看護師特定行為指定研修機関の現状と問題点：医師の立場から

谷崎 義生 (脳血管研究所 美原記念病院 救急部 脳神経外科)

# 臨床大講堂 (中継：大学院講堂)

14:55 ~ 16:15

## シンポジウム3 『多職種が語る医療安全』

座長：群馬大学医学部 名誉教授 堀内 龍也

### S3-1 薬事審査当局からみた医療安全について

磯部 総一郎 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課 課長)

### S3-2 多職種が語る医療安全—医療安全専従看護師の立場から—

鈴木 まゆみ (前橋赤十字病院 看護師長)

### S3-3 多職種連携で支える患者安全

永井 弥生 (群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 部長)

# 臨床中講堂

9:30 ~ 10:45

## 口演1 『入退院連携・在宅医療』

座長：済生会前橋病院 入沢 光美

O1-1 入退院センターにおける人的資源の活用と業務拡大への取り組み

～円滑な入退院に向けて～

本城 晴美（群馬大学医学部附属病院）

O1-2 訪問看護サービスの導入から継続にいたる要因

佐藤 晖（医療法人財団日扇会 訪問看護ステーション）

O1-3 在宅看護論を履修していない訪問看護師が専門性を高めるための要素

林 若菜（前橋赤十字病院）

O1-4 医療依存度の高いA君と家族を支える多職種連携

～退院後の1年を振り返って～

萩原 直美（群馬県看護協会訪問看護ステーション渋川）

O1-5 おうちで療養相談センターまえばしの活動と在宅医療・介護の連携について

の課題

福井 和江（前橋医師会 おうちで療養相談センターまえばし）

お知らせ

プログラム

シンポジウム

一般演題

# 臨床中講堂

10:45 ~ 12:00

## 口演2 『多職種による医療連携』

座長：群馬大学医学部附属病院 患者支援センター 主任 関上 里子

### O2-1 医療通訳の現場から

比嘉 照子（群馬県）

### O2-2 チーム医療における医療通訳の役割

天田 麻里（群馬大学医学部附属病院 医事課）

### O2-3 吸入指導依頼書における医療連携について

吉澤 俊裕（トマト薬局）

### O2-4 当院における吸入連携システムを利用した患者の検討

小野里 譲司（前橋赤十字病院 薬剤部）

### O2-5 医療安全とプレアボイド活動

～薬剤師による医療安全管理～

松浦 雅人（群馬県済生会前橋病院 薬剤部）

### O2-6 学生保健サポーターが地域交流サロン活動で得た学び

上山 真美（群馬大学大学院 保健学研究科）

# 臨床中講堂

14:55 ~ 16:15

## 口演3 『感染対策・チーム医療』

座長：群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション部 主任療法士 長谷川 信

### O3-1 結核対策における地域連携

大嶋 圭子（群馬大学医学部附属病院 看護部）

### O3-2 医療・看護の感染対策標準化に向けて

～介護施設対象研修会中間評価～

七五三木 聰一（沼田病院 感染予防対策室）

### O3-3 群馬県感染対策連絡協議会 ICN 分科会による感染対策支援について

柴草 仁志（伊勢崎市民病院 看護部集中治療室）

### O3-4 前立腺がん術後および放射線治療後の地域連携パス作成、運用、評価

竹澤 豊（伊勢崎市民病院 泌尿器科）

### O3-5 多職種連携のフットケアセンターの取り組み

～糖尿病看護認定看護師の役割～

井川 八重子（群馬大学医学部附属病院 看護部）

### O3-6 多職種による嚥下回診での薬剤師の活動

竹中 美貴（群馬大学医学部附属病院 薬剤部）

### O3-7 群馬県災害医療ロジスティクス研修会の開催報告

太田 吉保（前橋赤十字病院 第二管財課）

お知らせ

プログラム

シンポジウム

一般演題